



【祈りの特権と祝福②】

今日の聖書本文: マタイの福音書6章9節-15節/マタイの福音書5章16節

説教者: 鄭南哲牧師
(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！一週間も救い主イエスキリストの平安のうちにみんなお元気でしたか。まさに「一雨一度(ひとあめいちど): 秋から冬にかけて一雨ごとに少しずつ寒くなるという意味」の言葉通りに秋が深まり、大分寒くなりそうです。是非子どもたちからはじめ、教会家族みな風邪ひかないように、体調崩さないように、みなさんのお体を大事にして下さい。始まった今週も、みなさんの魂、心、お体とご家庭が幸いを得、また健康であるように主イエスキリストの御名によってお祈り申し上げます。

1. 我らの祈り生活の回復を目指して！

今日本文に入る前にみなさんにこのような質問をして見たいです。イエスを信じている人が祈らないまま正しい信仰の生活を送る事ができるのでしょうか。祈らない人のバランスが取れた聖書的な自我、健全な信仰と人生、家庭を築き上げ、保つことが可能でしょうか。祈りの人だと呼ばれる“EMバウンズ”という人はこのように言いました。**“信仰の生活において祈りを代理することもないし、祈り以上のこともない。我々の人生は今自分が祈っている以上にはならないのだ。”**

“人間はひざまずいて神様と顔をあわせるときこそ一番偉大になる。”と言ったイギリスの有名なロイドジョンズ先生が強調していた言葉です。私たちが覚えるべきことがあれば、**数多くの信仰の人々が偉大な者だったから祈ったわけではなく、祈ったからこそ、大いに神様に用いられ偉大な人生を送られたということですね。**

聖書に“**絶えず祈りなさい(1テサロニケ5:16-18)**”と神様が私たちに命じられた理由は単に何か困って求めるだけのぐらいではなく、**我々が祈りを通じて神様と交わりながら生きるべき存在**であるからです。そして我々は祈りを通して神様の恵みを味わいながら生きる時、人生の真の満足、感謝、生きる意味、目的と喜びを体験出来る存在になれることを、神はご存知だったからではないでしょうか。どんなに大量の作業ができる、素晴らしい機能を持っている機械があっても、エンジンが動かなければ、その機械はただの鉄にすぎないことと同じようにクリスチャンにとっても我々から祈りを除いてしまうと、神様が喜ばれること、神が望んでおられることを守り行い続ける力と神の愛の情熱を失い、最後まで全うすることが出来なくなります。

私達クリスチャンにとって祈りというのは、機械のエンジンのように私達の全領域を動かせるエネルギーであり、神のパワーであり、正しく生きる神の知恵なのです。

2. 我々の祈りの模範: 主の祈り

我々は先週から主が教えて下さった主の祈りについてともに学んでいます。

“イエス様が教えてくださった祈りは人類歴史上一番すぐれた、有な祈りです(E. ステンーリ)。”

弟子たちの祈りへの飢え渴きと情熱の前でイエスキリストは**“あなたたちは祈るときこのように祈りなさい。”**と最初であり、最後に祈りを教えて下さいました。これはただ祈りを暗唱しなさいという意味ではなく、正しい祈りの内容、祈りへの正しい姿勢をも教えて下さったことです。言い換えると、この短い主の祈りを通して私たちは真の祈りとは何か、祈りの生活のすべてを学ばされ、体験されるのです。

主が教えてくださった祈りを考えてみると今日には“主の祈り”だとすると、ただ、礼拝の中での呪文みたいに暗唱するもののように扱われていますが、B.C.2世紀時代の教会では信徒たちには一日三回かならず祈る時をもちながら吟味し、特に主の祈りを中心に主の祈りに従って祈るように教えられたそうです。

なぜなら、主が教えて下さった祈りというのはそれほど完璧な祈りであって、とつてもすばらしいからです。しかし、今日の信徒たちは主の祈りは覚えてはいますが、一箇所、一箇所に染みられている深い意味をさぐらないまま、唱えている時は多いのではないかと思います。主の祈りはただの暗唱するぐらいだけではなく、実際にこのように祈れという、我々がどのように祈るべきかに対する祈りの手引き(指針書)であり、案内書である事を覚えましょう。イエス様が教えてくださった祈りの通りに従ってささげる祈りこそ、神様にささげる最高と最善の祈りになるため、主はわざわざこの祈りを教えてくださったのです。

ですから、主が教えてくださった祈りをきちんと学べば、正しい祈りの原則と仕方を知って実行することができるようになります。イエス様の教えてくださった祈りを通して自分勝てに祈る姿、姿勢から自分の祈りの生活を点検し、直し、正しい祈りへの回復があり、祈りによって神に答えられる御恵みと祝福味わっていく私と皆さんとなりますように心からお祈り申し上げます。

3. 「御名が聖なるものとされますように(新改訳3版:あがめられますように)！」

今日は主の祈り、その2回目**「御名が聖なるものとされますように(御名が崇められますように)！」**についてともに学んで行きたいと思えます。この祈りの内容を通してまず、**普段私たちの祈りと主の祈りを通して祈りの目的と順番の違ががすぐ分かります。**つまり、我々は我々の父なる神様の御名を呼んだ後、さっそく自分が願うことや欲しいことを求めるような祈る傾向がありますが、イエスキリストから教えられた祈りの順番はまず自分の願いを求める前に神様の事、神のご栄光ため、神の御名が崇められますようにまず祈るように教えられました。

なぜそうだったのでしょか。それはイエス様の弟子たちが考えた祈りとイエス様が教えようとしておられた祈りの目的が違ったからです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの神の家族のみなさん！私たちは祈りというのを困った時、緊急な時、神様に願い、助けを求める方法として考えるがちです。だから祈り課題がない自体がもっと幸せだと思っているかも知れません。それは祈りをする目的をただの神様へのSOSぐらいのレベルで考えているからかも知れません。しかし、「天にいます私たちの父よ」から、イエス様は祈りというものの第一の目的は祈りは神の子どもとして、目に見えない父なる神様と深く交わりを保つためであることが分かります。家族が本当に和睦で、幸せである一番の特徴は、何でしょうか。嬉しいことも、悲しいことも、困っていることも、辛いことも、どんな事でも、お互いの心を正直に分ち合える、話せる夫婦の間、家族の間の会話(疎通)や共に時間を過ごす交わりのような関係ではないでしょうか。中が良い親子の関係もそうです。どんなことでもともに分かち合える交わりがあれば、家族関係がそんなに経済的に余裕がなくても、より親密になり、本当に幸いを感じられる家庭になれるのではないのでしょうか。同じようにイエス様は祈りをして神様と親密な関係、疎通、深く交わるために私たちが謙遜に父なる神様の御名をまず、あがめる姿勢を持つように教えて下さいました。この世の多くの家庭の中で本当に和睦な家庭はどんな家庭、家族でしょうか。広い家や高級な車などはいくらでもお金があれば買えるもので生活するのにきっと便利かも知れませんが、それが我々の家族や夫婦関係を和睦に、幸せにさせてくれるわけではありません。

そして、今日の「御名が聖なるものとされますように(あがめられますように)」を通して、真の神をあがめ、ほめたたえる事が出来る神からの人への手段(祈りを通して、神様の御名を崇め、ほめたたえるため、喜ばせるため、神様に栄光を帰すための祈り)として教えてくださったことが分かります。

そして、どう祈ることを主が喜ばれ、望んでおられるか、正しい祈る方法を祈りの順番を、イエス様は主の祈りを通して教えて下さいました。つまり、神様に祈る時「天におられる我々の父よ!」と呼び、何か自分のことをさっそくあれこれ求める前にまず、自分の事ではなく、「神様の御名が崇められ、聖なるものとされますように、御国が来ますように、御心が天で行われるように地でも行われますように」と続けて教えて下さいました。イエスキリストは父なる神に祈ることは人からではなく、神からのものである事、祈りは自身に焦点を合わせる事ではなく、まず神に焦点を合わせる事が出来るように、それによって本来神が望まれ、喜ばれる祈りの目的に沿って祈れるように教えて下さっているのです。

当時イエス様の弟子たちにとっては祈りってというのは、ただ信仰の儀式として、一方的に自分が求めることを神に訴え満足させる手段程度で知り、身につけたかったかも知れません。しかし、イエス様は祈ることはそのぐらいではないよ！と。祈りをして神様を喜ばせる、神の御名をあがめられる、だからただ自分中心にせず、まず、神中心に、神様のことを求めるよう教えて下さっています。

ですから、祈りってとても信仰の生活において、大切なものです。祈らなければ、神様との親密な交わりができてないことですから、当然神様中心より、自己中心になってしまいますし、神の御心を探るのも、見極めるのを、信仰の喜びと豊かさを味わえるのもできなくなるわけなのです。

①「我々にお与えになったあがめるべきすばらしい神の“御名”」

それではもっと具体的に、まず、我々が祈りの中で父なる神様の御名を心から崇める、御名に相応しく生きるためにはまず、その神様の御名を知らなければなりません。聖書には神の御名についてよく強調して下さいます。

(詩篇29:2, 30:4, 79:9, 86:9, 11, 91:14, 99:3, 109:21, 119:132, 124:8, 145:2, イザヤ書43:7, 57:15 マラキ書4:2:一番最後のページに書かれています。)

* 詩篇79:9「私たちの救いの神よ。私たちを助けてください。御名の栄光のために。私たちを救い出し、私たちの罪をお赦しください。御名のゆえに。」

* 詩篇119:132「御名を愛する者たちのために定めておられるように、私に御顔を向け、私をあわれんでください。」

* 詩篇124:8「私たちの助けは、天地を造られた主の御名にある。」

* ヨハネの福音書14章13-14節「またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。14あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしてあげます。」

* ヨハネの福音書17:11, 26「わたしはもう世にいません。彼らは世にいますが、わたしはあなたのみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに下さっているあなたの御名によって、彼らをお守りください。わたしたちと同じように、彼らが一つになるためです。26:わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。あなたがわたしを愛して下さった愛が彼らのうちにあり、わたしも彼らのうちにいるようにするためです。」

* 使徒の働き4:12「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」

我々にお与えになった神のすばらしい“御名”は聖書にはいろいろな表現として書かれています。みなさんが祈る時、神様のいろんな意味を知れば知るほど、より正しく、もっと祈れる力となり、信仰の確信を与えて下さいます。

*【神様の御名】(The name of God)

神がどのようなお方であるかを日々瞬間瞬間自分に、祈りの中に覚え、信仰により神の御名を告白する事も神を信じ、あがめる

事にもなると信じます。聖書をよく読んで見ますと、我々が信じている唯一な神がご性質によりさまざまな呼び名をお持ちであることをご存知ですか。それぞれの神様の呼び名は、神のご性質と我々への力と御恵みの一面を表しています。次の8つの名前に注目しながら、神がどのようなお方であるかを覚え、思いめぐらしつつ祈る時用いましょう。

①【共におられる神】(THE LORD IS THERE)

アドナイ・シャンマ (Jehovah-Sammah) 「主はここにおられる」

『この町の名は、その日から「主はここにおられる」となる。』(エゼキエル記48:35)

:あなたはここにおられます。私は決して一人ではありません。



②【羊飼いなる神】(The LORD is my shepherd, I shall not be in want.)

アドナイ・ロイ(ラア) (Jehovah-Rohi or Raah) 「主は私の羊飼い」

『【主】は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。』(詩篇23:1)

:あなたは私を導き、養い、守ってくださいます。

③【備え主なる神】(The LORD Will Provide)

アドナイ・イルエ (Jehovah-Jireh) 「主の山の上には備えがある」

『アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエと呼んだ。今日も、「【主】の山には備えがある」と言い伝えられている。』

(創世記22:14) :あなたは私が願う前から、私の必要をご存知です。

④【癒やし主なる神】(For I am the LORD, who heals you)

アドナイ・ラファ (Jehovah-Rapha) 「わたしは主、あなたをいやす者である」

『そして言われた。「もし、あなたの神、【主】の御声に確かに聞き従い、主の目にかなうことを行い、また、その命令に耳を傾け、その掟(おきて)をことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上には下さない。わたしは【主】、あなたを癒す者だからである。』(出エジプト記15:26)

:あなたは、私の体、心、すべての関係を癒やすことができになります。

⑤【義なる神】(The LORD Our Righteousness)

アドナイ・ツイクヌ (Jehovah-Tsidkenu) 「主は私の正義」

『彼の時代にユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。「【主】は私たちの正義」。それが、彼の呼ばれる名である。』

(エレミヤ書23:6)

:あなたはありのままの私を受け入れ、イエス・キリストによって赦してくださいます。

⑥【聖なる神】(I am the LORD, who makes you holy)

アドナイ・マカデシュケム (Jehovah-Mekoddishkem) 「わたしはあなたがたを聖なるものとする主である」

『あなたがたはわたしの掟(おきて)を守り、それを行わなければならない。わたしはあなたがたを聖なる者とする「主」である。』(レビ記20:8)

:あなたは私を清めて、キリストに似たものとして下さいます。

⑦【平安の神】(The LORD is Peace)

アドナイ・シャロム (Jehovah-Shalom) 「主は平安」

『ギデオンはそこに【主】のために祭壇を築いて、これをアドナイ・シャロムと名づけた。これは今日まで、アビエル人のオフラに残っている。』(士師記6:24)

:あなたはどのような状況にあっても平安を与えてくださいます。

⑧【勝利の神】(The-LORD-Is-My-Banner)

アドナイ・ニシ (Jehovah-Nissi) 「主はわが旗」

『モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、』(出エジプト17:15)

:あなたは戦いや対決の日に際して私の勝利とされます。

②「御名が聖なるものとされます(あがめられます)ように」意味

‘聖なる(あがめる)(hallow)’という言葉の意味はきよめる(Holy)の意味も含まれていますが、聖なる(きよめる)というのは単純に道徳的な面を意味するのではなく、他のすべての存在と区別される意味も含まれています。神様は他のすべての被造物と区別されるお方です。その神様をどんな物とも比べにならない、この世のあらゆるものと人類と区別される真の創造主なる神様！雄一の真の神様、栄光と力に満ちた神様！あらゆる被造物と明確に聖別されている神様であられることを私たちに示してくださっているのです。

そして、宗教改革者であったカルベン先生は‘御名があがめられますように’のところを‘神ご自身が受けるべきご栄光を受けら

れますように」という解釈しました。すなわち、我々は父なる神のみを真の神として謙遜に謙り、ふさわしく待遇すべきであり、神は信じる者たちを通して神様の御名にふさわしい栄光を受けることを喜ばれるという意味だと言えます。

* 詩篇86:9「主よ。あなたが造られたすべての国々はあなたの御前に来て、伏し拝み、あなたの御名をあげます。」

* ヨハネの黙示録15:4「主よ。あなたを恐れず、御名をあげない者がいるでしょうか。あなただけが聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！もちろん、私たちが神様をどう待遇するかによって左右されることも、低くされることも決してそうならないお方でしょう。しかし、**祈りを持って、真の唯一の我らの父なる神として、御名をあげ、賛美し、感謝を捧げる、賛美することを神様は喜ばれるお方であることを主の祈りは我らに教えて下さっています。神につねに祈りをもって、その方をより頼み、信頼してゆだねて生きることこそ、神はそれを喜ばれるお方であり、何か大したことではなく、このように神はご自身によって造られた神の者たちにと交わり、あげられることを何より喜ばれる神であり、それが真の神に対する正しい姿勢である事を教えて下さっているのです。**

ヨブ記1:21節の御言葉通りに「主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

③聖なる真の神様の子どもらしく区別された者としてふさわしく生きる事を望まれる神様のご意図が含まれている

愛するみなさん！今日の祈りの内容を通して、**我らの父なる神様は祈りだけではなく、真の神を信じる神の子どもらしく、この世の中区別された者として、私たちの生活と実際の行いを通して、神様の御名を崇めることを望んでおられ、喜ばれることを教えて下さっているのです！**

パウロは真の神の信じる民として、神の子ともとして、誇りをもっていながら、全然神の民らしく歩まないユダヤ人たちに向かってこう厳しく指摘しました。

ローマ人への手紙2章24節に「あなたがたのゆえに、神の御名は異邦人の間で汚されていると書いているとおりです。」

却ってイエスキリストは「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあげるようになるためです。」(マタイの福音書5章16節)と言われた御言葉のように我々の生活の中で、我々の行いを通して神様の御名をあげる事ができる事を忘れないで行きたいと願います。

以前アレクサンダー大王の実話を紹介した事があります。

紀元前356年ごろ当時世界をほとんど征服していたアレクサンダー大王の下にアレクサンダーと同じ名前がの兵士があったそうです。ところがこの兵士の生活はむちゃくちゃで、彼によってアレクサンダーという名前がますます回りからあざ笑いのうわさになって来ました。そのうわさをついに聞いたアレクサンダー王は突然その兵士のところに尋ねました。怖気(おじけ)で敬礼(けいれい)をしている部下アレクサンダーに向かってアレクサンダー王は「お前がアレクサンダーか」と問います。「はい！そうです。王様！」と震えながら答える兵士に続けて命令します。「私はお前のことをよく聞いた。だからお前に二つを命じる。今すぐお前の名前を変えなさい。変えたくないならお前の今の生活を変えなさい。それでアレクサンダーという名前の汚辱(おじよく)を洗い、相応しく行きなさい！」と。

使徒の働き11章26節には、イエス様を信じ、イエス様のように生きようとしていた弟子たちがアンテオケで始めて、キリスト者(Christian)と呼ばれるようになりました。その英語で言い換えると、「クリスチャン」という名前になりました。その名前にはキリストという言葉が含まれています。ですから、クリスチャンとして生きている我々は、これ以上隠れクリスチャンではなく、この世の中、大胆にイエスキリストに似た者として相応しく生きることを望んでおられます。すくなくとも、キリストの愛を持って区別された生活、行い言葉使いや行動、そして生活の生き方がこの世の信じていない自己中人たちとはさすが、違ったクリスチャンたちはこの世の光と塩として歩むことを主は望んでおられます。

自分のことにしか感心がない、自己中心で、利己主義の愛で益々冷めていくこの世の中で、我々の生き方を通して、つまり、イエスキリストがなされたように互いに愛し合い、愛の言葉と愛の行い、愛の仕えを通して神を賛美し、栄光を帰す私とみなさんとなり、心からお祈り申し上げます。

主が教えてくださったこの祈りを教わりながら、我らもイエス様のように祈る者として、祈る姿さえも、行いや品性さえもイエスに似ていく愛のクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族ととなりますように切に願います。今週一週間も、我らを通して神の御名が崇められますようにお祈り申し上げます。アーメン！

『神の御名に関する御言葉』

詩篇29:2「御名の栄光を主に帰せよ。聖なる装(よそお)をして主にひれ伏せ。」

詩篇30:4「主にある敬虔な者たちよ。主をほめ歌え。主の聖なる御名に感謝せよ。」

詩篇99:3「大いなる恐れ多い御名をほめたたえよ。主は聖なる方。」

詩篇109:21「しかし、神よ。私の主よ。あなたは、御名のために私にみわざを行ってください。御恵みのすばらしさのゆえに私を救い出してください。」

詩篇145:2「日ごとにあなたをほめたたえ、あなたの御名を世々限りなく賛美します。」

イザヤ書43:7「わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。」

イザヤ書57:15「いと高くあげられ、永遠の住まいに住み、その名を聖である方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、砕かれた人、へりくだった人とともに住む。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かすためである。」

アーメン！